

坂みみょう保育園



年長組



年中組

年少組

- ② 議長年頭あいさつ
- ③～⑤ 定例会・臨時会
- ⑥～⑪ 一般質問(10議員から13問)
- ⑫・⑬ 横浜小学校議会傍聴記

- ⑭・⑮ 議会の動き
- ⑯ **追跡** ありゃあ、どおなったん?
- ⑰ まちの声
- ⑱ 議会クイズ

坂町公式ライン
QRコード



一般会計
補正予算

約3327万円を追加補正で
予算総額83億5286万円に
～社会福祉事業者原油価格・物価高騰対策支援など～

主な収入

国庫補助金(児童福祉費補助金) 573万円
県補助金(児童福祉費補助金) 187万円
財政調整基金繰入 3318万円
総務債 △120万円
教育債 △810万円

主な使い道

重層的支援体制整備事業 932万円
社会福祉事業者原油価格・物価高騰対策支援
..... 402万円
町内道路維持工事 1000万円
クラブ大会補助 144万円

議員
小学校の教育振興費
のうちデジタル教科書
使用料が減額になった
理由は。

▼デジタル教科書の
使用料の減額は

企画財政課長
当初予算では、地域お
こし協力隊3名分の活動
費を計上していたが、2
名の採用となったため
の減額である。

議員
地域おこし協力隊活
動事業の補助金が減額
になった理由は。

▼地域おこし協力隊
活動事業の減額は

補正予算の質疑

12月定例会は、12月5日から開かれ、工事請負契約の締結3件、条例制定1件、条例の一部改正3件、
条例の廃止3件、一般会計と1特別会計の令和6年度補正予算、議員発議の条例改正1件を審議し、い
ずれも原案どおり全会一致で可決した。
一般質問は10人から13問を行い、町行政の考えを問うた。
今回は横浜小学校6年生の熱心な傍聴があった。

教育長
教員が使用する指導書
の一部にデジタル教科書
が添付されていたことか
ら、その教科は購入する
必要がなくなったため
である。

▼地域医療支援セン
ター運営事業負担
金の増額は

議員
地域医療支援セン
ター運営事業負担金
が増額になった理由は。

保険健康課長
済生会広島病院にふる
さと枠医師が配置され
たに伴う増額である。



全国中学校駅伝大会
みんなでつかった過去最高の4位入賞

議員
中学校の教育振興費
のうちクラブ活動補助
金の内容は。

▼クラブ大会補助金は

学校教育課長
坂中学校陸上競技部が
全国中学校駅伝大会出場
に伴い、現地の試走や
滞在費などの経費を補助
するものである。



明けましておめでとうございます

年頭にあたり、坂町議会を代表いたしまして、謹んで
新年のご挨拶を申し上げます。

日頃から町議会へ深いご理解と、議会活動に対する
温かいご支援・ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年から続く原油価格や物価の高騰は、長期化の
一途をたどり、町民の皆様の生活や経済活動に大きく
影響を及ぼしております。

このような中、地域経済対策はもとより、福祉や教育
などの施策を、引き続き行政とともに協議・検討して
まいります。

今後も町民の皆さまのご意見をお聴きしながら、
身近な議会を目指し、議員一丸となり、全力を傾注
してまいります。

本年も引き続き、町議会に對しまして、より一層の
ご支援とご協力を賜りますよう心よりお願い申し上げ、
新年のご挨拶といたします。

坂町議会議長 川本 英輔

各議案に対する採決状況（各議員の賛否一覧）

令和6年 坂町議会 定例会・臨時会

★川本議長は採決に加わらない

提出議案と主な内容	議員名										採決
	折中智	岡村繁範	縫部逸都	池脇雅彦	向田清一	末吉克巳	安竹正	光岡美里	中川ゆかり	柚木喬	奥村富士雄
令和6年 第7回 坂町議会臨時会（11月15日）											
議案第57号 令和6年度坂町一般会計補正予算（第6号）の専決処分の承認を求める件 878万2千円を追加し、79億8959万円に	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第58号 令和6年度坂町一般会計補正予算（第7号） 3億3000万円を追加し、83億1959万円に	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
令和6年 第8回 坂町議会定例会（12月5日～12月6日）											
議案第59号 坂東環状線道路改良（その3）工事請負契約の締結 契約金額9955万円で広島ガステクノ・サービス㈱と契約	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第60号 坂東環状線（仮称）明神橋橋梁下部工事請負契約の締結 契約金額8118万円で広島ガステクノ・サービス㈱と契約	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第61号 水尻9063地区急傾斜地崩壊対策工事請負契約の締結 契約金額5333万9千円で中山法面工業㈱と契約	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第62号 刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定 拘禁刑の創設による条例の整備に伴う制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第63号 特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部改正 人事院勧告などを考慮し特別職の職員の期末手当の支給月数を引き上げる	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第64号 職員の給与に関する条例の一部改正 人事院勧告などを考慮し給料表の改定等を行う	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第65号 会計年度任用職員の報酬、期末手当、勤勉手当及び費用弁償に関する条例の一部改正 一般職の特別給に準拠し、会計年度任用職員の特別給の支給月数を引き上げる	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第66号 坂町立図書館図書整備基金条例の廃止 基金が一定の役割を終えたことに伴う廃止	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第67号 坂町浮消波堤維持管理基金条例の廃止 基金が一定の役割を終えたことに伴う廃止	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第68号 坂町まち・ひと・しごと創生基金条例の廃止 基金が一定の役割を終えたことに伴う廃止	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第69号 令和6年度坂町一般会計補正予算（第8号） 3326万8千円を追加し、83億5285万8千円に	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第70号 令和6年度坂町介護保険事業特別会計補正予算（第2号） 1492万4千円を追加し、総額13億2496万4千円に	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
発議第2号 議会の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正 人事院勧告などを考慮し、議員の期末手当を改定する	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

注：上記表内の数値は、四捨五入したものを記入した。



福岡県糸島市行政視察



第8回坂町議会定例会

より住みよい坂町を目指して

～坂東環状線道路工事契約、小屋浦一丁目再開発に向けて～

審議のあらまし

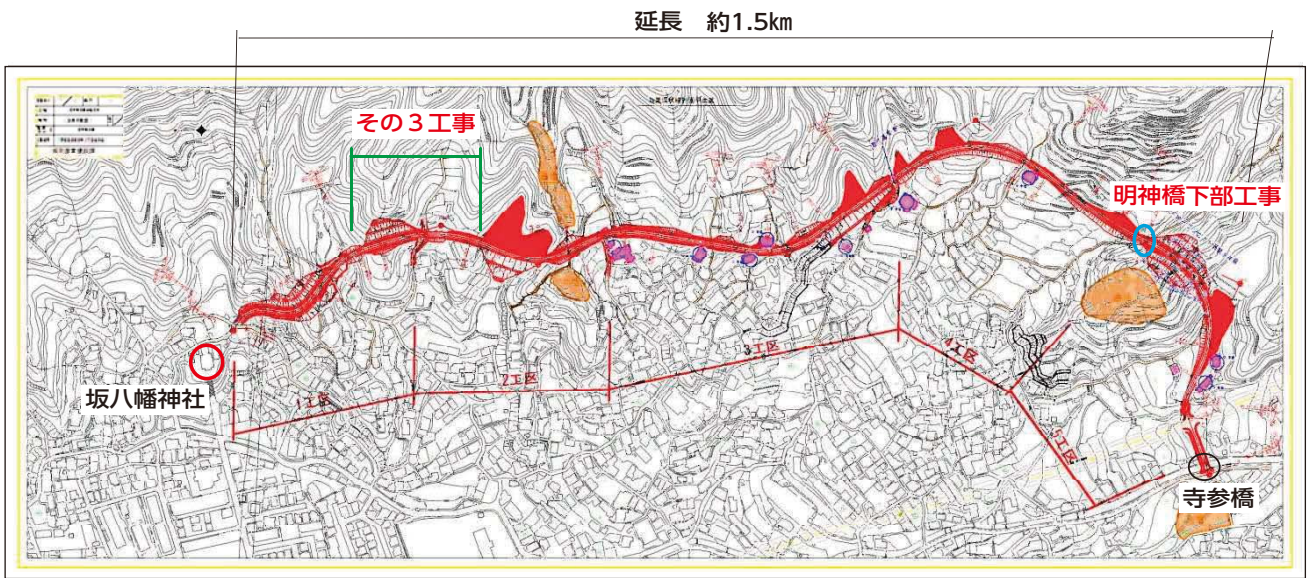
▼工事請負契約の締結は

議員
坂東環状線道路改良（その3）工事にかかる土地買収状況は。

基盤整備担当課長
未契約が一件あるものの、施工承諾を結んでいるため、工事には影響はない。

議員
なぜ、明神橋橋梁下部から工事を始めるのか。

基盤整備担当課長
明神橋を整備することにより、坂八幡神社側と上條地区側の両側からの工事によりスピードアップを図るものである。



坂東環状線道路改良工事位置図

第7回臨時会11月15日

補正予算の専決処分は

◎衆議院議員選挙

町長
令和6年10月の衆議院議員選挙の実施に当たり、直ちに執行手続きを行う必要があり議会を開くための余剰がなかったため専決処分し、既定の予算総額に878万2000円を追加した。

議員
は。備品購入費の使途

総務課長
投票用紙を交付する機器の経年劣化に伴い新規に購入するものである。

◎民有地売却物件

町長
小屋浦一丁目の民有地売却物件の入札参加に3億3000万円の補正予算措置をする。財源は大規模事業基金から土地開発基金に繰入れ、入札に参加する。

議員
民有地を購入する目的は。

企画財政課長
現在計画している小屋浦一丁目再開発に向けて、当該民有地を取得することで一体的な開発が可能となるため。

一般質問

10人から
13問
行政に問う

定住促進

定住促進の今後の取り組みは

町 全職員一丸となり定住促進に取り組む



池脇 雅彦 議員

議員
子育て支援期間終了後の現状と課題は。

議員
定住促進の今後の取り組みは。

町長

町長
施策の成果としては、三世帯同居・近居住宅支援事業や空き家対策などによる移住・定住促進などの実施により一定の成果を上げている。

町長
これまで平成ヶ浜地区、小屋浦地区に子育て支援住宅を整備し若い世代の定住促進に努めた。近年3カ年では25世帯が退去、うち12世帯が町外に転出した。

町長
転出理由は、子どもの進学、仕事関係、実家に引続き、転居先に坂町を選んでいただけのよう切れ目のない各種支援対策に取り組む。



平成ヶ浜住宅1号館

町長

復旧から復興へと舵を切った今、小屋浦地区の活性化が最重要事項であると認識している。

町長
県道坂小屋浦線や町道坂東環状線などの基盤整備を推進し土地の有効活用も考える。

町長
全職員一丸となり、住んでみたい町、住み続けた町となるよう取り組む。



末吉 克巳 議員

町長
坂町版ネウボラの現在の状況は。

町長
坂町版ネウボラの特徴として、母子保健推進員が積極的に家庭訪問や声がけしていただくなど地域において安心して子育てができる環境づくりに取り組んでいる。



子どもは坂町の宝

かりと推進していきたい。

議員
ファミリーサポートセンターの現在の利用状況は。

町長

町長
ファミリーサポートセンターは、坂町社会福祉協議会へ委託し事業を実施している。

町長
現在の利用状況は、令和6年4月から10月末現在、実働日数74日、220時間である。

議員
おむつの定額利用サービスの支援を町内各保育園・こども園に導入しては。

子育て支援

坂町における子育て支援環境の現状は

町 ニーズ調査で計画的に各種施策を実施

子育て支援

子育て支援住宅退去に伴う支援は

町 入居期限引き上げにより定住を図っている



岡村 繁範 議員

議員
子育て支援住宅からの退去世帯へ具体的にどのような支援を行っているのか。

町長

町長
現在認定こども園の児童数が定員に達していないこともあり、運営も考慮していく必要があるため、入居期限の引き上げ要請については関係者と協議する。

議員

議員
県営住宅の退去条件を、町営・町有とあわせて18歳までとするよう、県に対して要請しては。

議員

議員
今後の坂東環状線および県道整備事業にあたり、可住地の拡大などを考えては。

町長

町長
坂町第5次長期総合計画や坂町都市計画マスタープランの土地利用構想として、周辺の良好な住環境の形成を図るとしており、構想実現に向け、鋭意努力する。

町営・町有住宅

町営・町有住宅の入居条件の見直しを

町 損害賠償保険加入は入居者自身の判断



安竹 正 議員

議員
損害賠償保険加入を入居条件の義務化とすべきでは。

町長

町長
退去時には、入居許可条件として原状回復義務の説明をし、納得の上で入居されており、民間でも同様の扱いの物件が多い。今後、民間や公営住宅の動向にも注視していく。

議員

議員
入居者が退去する際、畳の表替え、ふすまの張替えは、適正金額を徴収するよう民間の条件に合わせるべきでは。

議員

議員
入居後、畳の白焼けによる表替えをしたことがあるため、事前の内覧をさせるべきでは。

建設課長

町長
畳が白焼けしないような措置を講じるとともに、希望者には内覧を行っていく。

町長
平成31年3月議会において、子育て支援住宅の条例等の改正を行い、18歳になった年度末を入居期限とし今日に至る。この改正により、幼少期から坂町に在住すること、住み慣れた環境、人とのつながりや町のあらゆる分野での支援などにより、町内へ留まる思いも強くなることで、定住促進が図られるものと考えている。



平成ヶ浜住宅3号館

町長
町営・町有住宅の管理条例に、入居者の保管義務があり、住宅に損害を与えた場合には、原状回復または、これに要する費用を賠償するもので、入居時に説明している。損害賠償保険の加入は、入居者の諸事情もあるため、入居者自身が判断すべきと考える。



町有住宅・小屋浦一丁目住宅

町長
地域ポイントとして対象を拡大すると、財源をどう確保するかが大きな課題となる。
地方創生交付金は地域ポイントなどの金券発行

今まで「高齢者いきいき活動ポイント」等の導入の質問があり、多くの財源が必要で慎重に検討するとの答弁であった。地方創生という観点で、多世代の地域活動やボランティア活動の推進、コミュニティや地域経済の活性化、地域課題の解決や地域の賑わい創出に活用しては。



奥村 富士雄 議員

地域ポイント

町 導入は慎重に検討、坂町らしい地方創生を地域ポイント発行で地方創生を推進しては

議員
高齢化などで地域活動への参加が減っており、若者への参加を促すためにも導入しては。

本町では、住民福祉協議会や青少年育成坂町民会議、老人クラブなどのご協力や地域や健康づくり活動などに多く参加していただいているので、慎重に検討していく必要がある。

町長
対価を求めて地域活動に協力することがよいことなのか疑問がある。引き続き、小屋浦地区の活性化、移住、定住、子育て支援、賑わい創出など、坂町らしい地方創生に取り組む。



地域活性化のためポイント導入を

町長
今回の介護保険事業計画における介護サービス利用者や利用回数、推計では、既存の事業者によるサービス量で不足がない見込みであるので、新たな施設を新設する必要はないと考える。

認知症高齢者の施設整備として、小規模多機能型居宅介護施設の早期新設を、過去2回質問したが必要性から即新設しては。



柚木 喬 議員

認知症対策

町 既存の事業者のサービス量で不足がない見込みで新設は必要ない
認知症高齢者に小規模多機能型居宅介護施設の新設を

議員
今期の保険料6100円では賄いきれないが、即導入のためのシミュレーションを実施しては。

町長
介護保険事業計画は3年ごとに介護サービスの需要と供給を推計し、新たな施設やサービスの必要性を検討している。新施設は需要と供給だけでなく、民間事業者の人材確保や収支の経営判断も必要と考える。



健康体操などで楽しく認知症予防を

議員
認知症支援事業を各自治体も実施しているが、当町の実施状況は。

町長
今年度は、すべての地区に健康体操やカラオケなど楽しみながら認知症予防を行うことができる生活機能向上機器を設置した。今後も認知症施策の推進に取り組んでいく。

留守家庭児童会

町 児童・保護者の状況を総合的に判断、基準を設け柔軟対応



向田 清一 議員

夏休みなどの入会条件は保護者が午後1時ごろまで不在の場合などであるが改善できないか。

教育長

留守家庭児童会は、保護者が就労などにより昼間家庭にいない児童に対し、適切な遊びや生活の場を提供するものである。

そのため、入会には児童・保護者の状況を総合的に判断するため一定の基準を設けている。夏休みの「保護者が午後1時ごろまで家庭にいない状況」は保護者の帰宅時間が概ねこの要件を

学区	低学年		高学年	
	入会者	入会率	入会者	入会率
坂	56人	51%	29人	58%
横浜	56人	56%	22人	55%
小屋浦	24人	40%	低・高学年一所	
合計	136人	49%	51人	56.5%

議員
留守家庭児童会の入会者数及び定員に対する入会率は。

教育長

左記表記の通りである。



児童会に向かう児童

生涯学習課長
開所時間の変更については、人員配置の可否を現在、指導員と話し合いを継続している。また早出を希望する方の負担金についても検討しているので詳細が決まり次第報告する。

議員
現行の8時30分から18時までの開所時間を延長できないか。



光岡 美里 議員

個別避難計画作成の対象者が全体で何人か、その内、作成されているのは何人か。

町長

昨年度13地区で計画の説明会を行い、今年度から計画作成システムを導入し、本格的に取り組んでいる。

令和6年6月現在、個別避難計画作成の対象者は75歳以上の一人暮らしの高齢者及び75歳以上で構成される高齢者世帯など対象範囲を定めており、全体対象者は1955人である。このうち計画を作成さ



避難経路や避難場所は確認してね

町長
各地区住民福祉協議会の自主防災会が主催する避難訓練などの中で、今年度、1地区の自主防災会において、支援者が、個別避難計画に沿った災害時の避難における実効性を検証する取り組みを行っている。

議員
個別避難計画に沿った避難訓練の実施に向けた取り組みは。

れている方は38名となっている。

議員
避難行動要支援者が安全に避難するための環境整備の進捗は。

町長

坂町地域防災計画において「要配慮者に配慮した環境整備」をあげており、避難所などを指定する際は、土砂災害警戒区域など危険な区域でないことを前提に、空調の整備やエレベーターの設置状況、トイレの状況などバリアフリーを基本とした施設を指定している。令和6年9月には福祉避難所の機能を備えた「ほほえみタウン坂」が開設し、避難行動要支援者の方が安全で安心して避難できる環境の整備に努めている。

避難要支援

町 安全で安心して避難できる環境の整備に努めている
災害時避難行動要支援者への取り組みは

町長
現在、国の厚生科学審議会において、ワクチン接種による効果や安全性などについて議論されており、予防接種法に基づき定期接種としての検討が行われている。
带状疱疹ワクチンは、予防接種法で任意接種となっており、個人の判断

ワクチン助成をしている自治体は689市町に達しているが、本町が遅れている理由は。

柚木 喬 議員



により接種するワクチンとされているが、今後、定期接種として位置づけられた場合は自己負担額が抑えられ、町が負担する費用に対する交付税措置がされることから、引き続き国の動向を注視している。

議員
定期接種化される前に町独自の助成をしては。
民生部長
令和5年3月議会でも同じ質問があったが、町ではその1年半前からストレスにより带状疱疹を訴える町民がいるのとことで調査してきた。
その結果、現在、国の厚生科学審議会が効果や安全性について調査、検討が行われているのとことで、国の動向を注視し、国に準じて行っていく。

教育長
義務教育開始前後の5歳児から小学校1年生の二年間のいわゆる「架け橋期」において一人一人に配慮した、すべての子どもに学びや生活の基盤を育むことを目指すことである。

幼保小の架け橋プログラムとは。

池脇 雅彦 議員



遊びの中で学ぶ「架け橋期」

議員
ただ遊ばせているだけという誤った認識に対しては。
教育長
地域公開保育、保育参観、小学校との交流や中学生の保育実習を通して、保護者や教職員に理解を求めていく。

議員
デジタル化は町にどのような効果をもたらすか。
町長
デジタル化は、地域密着・住民密着の推進に必要不可欠であるが、高齢者などが取り残されないよう、デジタルとアナログの併用を念頭に改革を進めていく。

議員
幼保小の接続・連携にかかる本町の将来構想は。
教育長
民生部、教育委員会をはじめ行政が一体となり、幼保小中学校を繋ぎ、情報を共有し取り組む。
その他「町長が目指すデジタル化の推進を問う」も質問した。

带状疱疹

町 定期接種に位置づけられるか注視する
带状疱疹ワクチン接種に助成を

教育長
町民の皆様にあられ続けてきた既存のプール施設を有効活用していくことを念頭に置き、今後も安全・安心に利用していただけるよう、必要な補修等を行いながら進めていきたいと考えている。

世の中の状況が大きく変化している中で、プールの環境・安全などは現状のままでよいのか。



中川 ゆかり 議員

町内プール施設

町 安全安心を第一に必要な補修などを行いながら進める
未来の水泳環境を考える「町内プール施設の現状は

議員
各小学校プールの外壁フェンスを、外から見えにくく改修しては。

生涯学習課長
今後、金網フェンスに目隠しシートを張ることができるとかどうか調査・検討をしていく。

議員
温暖化にも関わらず、海洋センタープールの水温が上がらない状況の検証や対策を。

生涯学習課長

外壁フェンスは、平成27年度大規模改修時に外して再度取り付けたため、強度が弱くなっている。現在は穴が開いた箇所にパッチを貼って対応している。
また、天井部分が開いていることも確認しているが、そのことが水温が



目隠しフェンスで安全・安心！

生涯学習課長
近年、猛暑の影響で地面が焼けて滑りやすくなるなどの両方が心配されるので、できる限りの対策を取っていく。

議員

海洋センタープールの床が滑って危険である。全面に滑りにくい工夫をしては。

上がらない原因であるかどうか、検証する必要がある。

町長
平成30年、令和3年の雨量計測及び30年降雨確率の検証結果を基に改修計画を策定したうえで、浸水被害の解消に向けて地区内の排水路改良事業を進めているが、当該区間は排水能力を満たしていることから整備の予定はない。

横浜東二丁目二方通行路に側溝を新設してはどうか。



折中 智 議員

側溝の新設

町 検証結果に基づく改修計画により工事を実施
横浜東二丁目付近の雨水排水対策は

議員
暫定的に当該区間に小型ポンプを設置し、雨水を強制的に排水してはどうか。

町長
小型ポンプの設置についても、排水能力の検証結果から設置の必要はないものと考えている。

議員
近隣住民から雨水排水に対して不安の声があるが、新たに説明会の予定は。

都市計画課長

改修計画の策定、工事の施工に際し、地元の意見をとり入れて進めており、改めて説明会を行う予定はないが、住民からの意見は常に聞く体制を取っている。



雨水がたまる横浜東二丁目付近

建設課長
雨量の強さではなく、滞水池の底から15cm溜った際に自動制御で稼働する。

一定の雨量で自動的に稼働する。
住民の方にもわかるように滞水池に目印を付けている。

議員
横浜ポンプ場のポンプが稼働する基準は。

都市計画課長

12月6日に議会傍聴に行きました。ぼくは初めて議会を体験して、思ったことが二つあります。

一つ目は、議員さんが理由づけて質問していたことです。また、議員の方々の質問に答える時、理由や根拠をもとに答えることで、すぐ納得のいくものになっていて、ぼくも発表などをする時に活かしたいなと思いました。

二つ目は、議会の方々の質問の仕方についてです。最も知りたいことを初めに話し、その後になぜそのことについて知りたいのかについて話しておられました。初めに最も知りたい質問を話すことにより、質問に答える方も、頭の中を整理して答えることができ、いいなと思いました。

ぼくは、今回議会傍聴に参加させていただき、質問の仕方や答え方をこれからの学校生活の中で活かしていきたいと思いました。貴重な体験をありがとうございました。

傍聴記

横浜小学校6年生



横浜小学校6年2組



横浜小学校6年1組

子どもたちから見た議会

12月6日に議会傍聴に行きました。ぼくは初めて議会を体験して、思ったことが二つあります。

一つ目は、議員さんが意見を発表する姿についてです。自分の意見を発表する時は、ピシッと手を挙げて、「はい！議長！」と言い前に出て行かれる姿は礼儀正しくてか、よかったです。

二つ目は、全ての意見が坂町で過ごす人達のことを考えておられたことです。その中でも一番心に残ったのは、プールの老朽化についての意見です。坂町内の学校にあるプールは、中学校以外の外壁は全てフェンスでできています。また、プールが道路に面しているということもあり、外から中の様子は見えです。そこで、子ども達のプライバシーを守るためにも、中の様子が見えにくい外壁を作ろうと提案されていました。ぼくは、坂町の子供達のために熱心に話し合いをされている様子を見てとてもうれしく感じました。

12月6日に議会傍聴に行きました。ぼくは初めて議会を体験して、思ったことが二つあります。

一つ目は、大事なことを、大きく、はっきりとした声で言うことです。どの議員さんたちも伝えたいことを大きな声ではっきりと話していて、まねしたいと思いました。

二つ目は、町民の「安心・安全」を考えていることです。危険な場所の修繕やいじめの対応、地域ポイントの取り組みなど、ぼくたち町民の「安心・安全」を考えてくださっていることが伝わり、すごくうれしかったです。

ぼくは、この議会傍聴を通じて、話し方や聞き方について深く学びました。坂町民の安心・安全を考えてくださっている議員さんたちがカッコいいなと感じ、ぼくもそんなやりがいのある仕事に挑戦してみたいなと思いました。このような貴重な体験をさせていただき、本当にありがとうございました。

12月6日に議会傍聴へ行きました。初めて議会を傍聴して感じたことは二つあります。

一つ目は、議員の方が質問するときや、町長などが答えるときに、町民のことをすごく考えられていると思いました。将来目標人口1万5000人を達成するための課題を説明する時に、町民の意見をもとにしたり、町民の立場に立、たりして、より安心して生活できる町をつくりたいという気持ちがとても伝わってきました。

二つ目は受け答えが早く、正確なことです。議員の方が質問した後、それに意見がある人、主に町長さんがすぐに手を上げ、意見を言っているすかたに感心しました。そして、早いだけでなく、内容をくわしく正確だ。たのび、すごいなと思いました。

私は初めて議会を傍聴して、坂町のさまざまな課題について知ることができました。よりよい町にするために何ができるかを考えてみようと思いました。

12月6日に議会傍聴へ行きました。そこで学んだことは、二つあります。

一つ目は、自分の意見を相手に伝えていたことです。発表する人は、一つ一ついい言葉で、話すスピードも速すぎず、ゆっくりすぎず、ちょうど良かったので聞きやすかったです。そして、自分の意見を相手にしっかりと伝えることは大事だなと思いました。だからこれからは、自分の意見を相手にきちんと伝えることを心がけたいと思います。

二つ目は、国語の話し合いの時みたいに、相手の意見に対して、賛成・反対や質問をしていたことです。意見を言う人は、自分がなっとくするまで質問していたり、質問された人は、一つ一ついい言葉に質問に返したりしていました。

いつも私たちのために、知らないところでこうした話し合いをしてくれているんだと気づくことができました。今日の学びを次に活かしていきたいです。

私は、12月6日に議会傍聴に行きました。そこで三つ感じたことがあります。

一つ目は、話す時の礼儀です。質問をする人は、手を上げ番号を言って大きな声で「はい」と返事をし、前に出て、礼をしてハキハキと話し、礼で終わ、っていたことです。小学校でも手を上げて返事をしているけれど、議会では番号を言って礼で始まり、礼で終わ、っていて、こんな礼儀を学校、生活で使いた、と思いました。

二つ目は、話し方です。みんなていねいな敬語を使って話していたり、「考えをおしえてください」と問いかけた話し方をしたりしていました。私も敬語を地域の人と話すときに使いた、です。

三つ目は、1つの質問に対して担当課の人が分かりやすく話していたことです。質問した人は、納得するまで質問していました。

この貴重な学びを、学校、日常などで、かり活かせるようにしたいと思いました。

～身近な議会を目指して～

議会改革推進特別委員会

- ＜10月18日＞・議員報酬の見直しの件
- ＜11月15日＞・議員報酬の見直しの件
(議員報酬の増額について引き続き協議進行中)
- ＜11月15日＞・広島翔洋高校の生徒会との意見交換会(生徒10名、校長、教頭、顧問)
- ＜12月7日＞・広島文化学園大学祭に参加



広島翔洋高校との交流会風景

・議員報酬の見直しの件

10月19日

- ・議会改革推進特別委員会内にワーキンググループを設置した。
- ・委員会後に、ワーキンググループでの会議を開催し、議員報酬の見直しにあたっては、全国の地方議会の動きや、全国町村議会議長会が作成した資料などの調査研究を行うこととした。

11月15日

- ・ワーキンググループにおいて行った調査研究について委員会で報告した。
- ・主な内容としては、議員報酬額の決定についての様々な方式や、近年の全国の地方議会の取り組みについて説明し情報共有を行った。

総合計画調査特別委員会

- ＜10月28日＞・福岡県東峰村 行政視察
(東峰村災害伝承館について)
- ＜10月29日＞・福岡県糸島市 行政視察
(福祉の総合相談窓口について)



福岡県糸島市行政視察(福祉の総合相談窓口の件)

第13回川本町・坂町姉妹都市交流議員研修

- ＜11月25日＞・坂町災害伝承ホール
被災者支援について(研修)
- ＜11月26日＞・議会改革の取り組みについて
(意見交換)



坂町災害伝承ホールでの研修

議会運営委員会

- ＜10月11日＞・坂町議会基本条例の見直しの件
- ＜11月1日＞・令和6年第8回坂町議会定例会の件
- ＜11月15日＞・令和6年第7回坂町議会臨時会の件
・議員評価項目の見直しの件
- ＜12月2日＞・令和6年第8回坂町議会定例会の件

議会の動き

全員協議会

- ＜10月4日＞・令和6年度全国学力学習状況調査報告の件
- ＜11月1日＞・人事院勧告に伴う給与改定の件
・坂東環状線道路改良(その2)工事の追加施工の件
・令和6年第8回坂町議会定例会の件
- ＜11月15日＞・小屋浦一丁目民有地売却物件への入札参加及び補正予算措置の件
・令和6年第7回坂町議会臨時会の件
- ＜12月2日＞・物価高騰に係る社会福祉事業者への補助金の件
・町民ひろば外壁全面改修工法の比較検討結果の件
・基金条例の廃止の件
・令和6年度12月補正予算の件
・坂東環状線道路改良(その3)工事請負契約の締結の件
・坂東環状線(仮称)明神橋橋梁下部工事請負契約の締結の件
・水尻9063地区急傾斜地崩壊対策工事請負契約の締結の件
・令和6年第8回坂町議会定例会の件

建設文教委員会

- ＜9月18日＞・坂町教育委員会との意見交換会
- ＜11月1日＞・留守家庭児童会の件



坂町教育委員会との熱心な意見交換会

総務厚生委員会

- ＜10月18日＞・認知症ケアパスの件
- ＜11月1日＞・児童手当給付事業の拡充の件
- ＜11月21日＞・鳥獣被害防止総合対策事業の件



サル捕獲檻(中村地区)

まちの声



が聞こえる

このコーナーは、議会クイズのはがきの意見・要望などの一部を掲載しています。



便利な町内循環バス

近年、高齢ドライバーによる交通事故は、社会問題となっており、運転免許更新時の高齢者講習や自主返納などの制度がある一方、高齢者が運転をやめてしまうことは、高齢者自身の生活範囲を

危険な運転するなど思っている方が降りてきたのが高齢の方でした。きちんとルールを守っていても突っ込んできたりしたらどうにもできない。坂町で何か対策があるというと思う。

高齢者の運転



安全運転をお願いします

狭めてしまうことにつながる可能性があります。町では65歳以上で運転に不安のある方、これからは安全運転を継続したいドライバーの方を対象にスマートドライバー講習会を実施し、交通事故防止を図っています。

【環境防災課】

バス運行情報

循環バスが遅れた場合町内放送がありますが、その後の連絡がないので、買物に行くのに困ります。

循環バスをご利用いただきありがとうございます。交通事情などにより、バスが発行予定時刻を大幅に遅れた場合には、町内放送により皆様にお知らせをさせていただきます。

この度のご意見を参考にさせていただきます。今後遅延が解消した場合は、お知らせさせていただきます。

お急ぎの場合は、都市計画課（☎820-1513）にお問い合わせください。これからも、皆様のご意見を伺いながら、利便性の向上に努めてまいりますので、引き続き、通院・通学やお買い物などお気軽に「坂町循環バス」をご利用していただければ幸いです。

【都市計画課】



ネットをしっかりかけよう



熱中症、気を付けよう

ゴミの収集日程などは、毎月配信中の坂町公式ラインおよびdボタン広報誌の情報をご確認いただき、決められた日に決められたゴミを出すようご協力をお願いいたします。

【環境防災課】

また、毎年3月に坂町広報誌と同時に配布している「ごみと資源の出し方」についても併せてご利用ください。

【生涯学習課】

ゴミ出しのモラル！

ゴミ出し、一人一人が気を付けて。

ゴミの収集日程などは、毎月配信中の坂町公式ラインおよびdボタン広報誌の情報をご確認いただき、決められた日に決められたゴミを出すようご協力をお願いいたします。

熱中症の危険！

毎年9月に実施される各種町内体育行事、真夏日の環境下で行われる。参加者の熱中症が危険される。実施時期の変更の検討を要望。

各種町内体育行事にご参加いただきありがとうございます。

競技によっては、開催時期が限定されるものもあるため、分別開催も含めて体育協会や関係機関と協議してまいります。

追跡 ありやあ、どおなったん？

令和4年6月定例会から

議員 急傾斜地の整備状況は、災害後9カ所しか実施されていないが。

町長

工事は、狭隘で急峻な法面での施工が多く、完了までに多額の事業費がかかるため、年間工事件数も限られ、事業の進捗には苦慮している。

継続

平成30年の災害における緊急的な対策として、令和3年度末までに計画した9カ所の整備がすべて完了し、令和4年度からは土砂災害特別警戒区域9カ所の内、令和5年度末までに3カ所が完了し、令和6年度は2カ所の急傾斜地対策工事に着手している。残る4カ所も県と連携し、計画的に事業の進捗を図っていきます。

【建設課】

議員 福祉や介護サービスを受けていない高齢者への対応は。

町長

老人クラブの活動を支援するための補助金の交付や地域の集いの場などを活用した健康づくりに関する意識の高揚と自主的な取り組みを推進し高齢者の健康寿命の延伸に努めている。

継続

各地区にカラオケや健康体操、脳トレができる生活機能向上機器を設置した。健康寿命の延伸や認知症予防にも効果があると考えているので、地域の集まりなどで積極的に活用いただきたい。

【保険健康課】



生活機能向上機器の活用を

議員 障害福祉サービス施設整備は、植田四丁目を候補地とし、今後運営事業者を募集することだが、構想を含めた計画内容は。

町長

町のニーズにかなう障害福祉サービス施設を實現していただける施設整備・運営事業者を決定し、早期の整備着手並びに運営開始を目指す。

完了



ほほえみタウン坂

社会福祉法人つじと坂町が協力して計画・整備を行い、令和6年9月2日に障害福祉サービスや福祉避難所を兼ね備えた多機能型障害者施設「ほほえみタウン坂」が開所した。サービス内容は生活介護、就労継続支援B型、児童発達支援、放課後等デイサービス、保育所等訪問支援を実施し、幼児期から大人まで一貫した支援を行っている。

【民生課】



音楽とともに
新しい年を



坂マンドリングクラブクリスマスコンサート

第110回 議会クイズ



《クイズ》

空欄に適切なことばを入れてください。

①子育て○○○○の現状は

②留守家庭児童会の○○を広くし

③災害時避難行動○○○○への取り組みは

④○○促進の今後の取り組みは

⑤横浜東一丁目付近の○○○○対策は

《ヒント》

一般質問の中にあります。よく読んでください。

《注意》

10月1日からハガキ料金は85円となっています。ご注意ください。

《応募方法》

はがきに「**たえ・住所・氏名（ふりがな）・年齢**」を記入してください。

議会への要望・意見なども書いてください。

『まちの声』で、できるだけ紹介させていただきます。

正解者多数の場合は抽選で10人の方に図書カードをお送りいたします。

※ホームページ・携帯電話（携帯サイト）からも応募できます。

《あて先》

〒731・4393

坂町役場内議会事務局宛

《しめきり》

1月末日 消印有効



QRコード読み取り機能のついた携帯電話で議会クイズの申し込みができます。

《第109回 正解》

- ①施設
- ②拡大
- ③カメラ
- ④有害鳥獣
- ⑤ケアパス

第109回クイズ当選者

ご応募ありがとうございました。

正解者多数により抽選の結果、次の方々が当選されました。

吉川 英樹
山下 里美
高下 徳子
酒井 美由紀
柚木 多恵子
矢張 美紀
松坂 依奈
折口 優真
佐々木和恵
永久 悦子
【順不同・敬称略】

《個人情報取り扱いについて》

ご記入いただきました個人情報（「まちの声」の目的以外には利用いたしません。）

あとがき



新年おめでとうござい

ます。令和7年の乙巳（きのとみ）の年は、多くのの人にとって成長と結実の時期となる可能性が高いとのことです。

これまでの努力や準備が実を結び始める時で、柔軟な心と知恵を持って、新たな挑戦に向かいましょう。

新しい年が、あなたにとってしなやかで知恵に満ちた一年となりますように。

平成30年の豪雨災害からの復旧が完了し、復興・新たなまちづくりが進んでいます。

今年8月1日に坂町は町制施行75年の記念すべき年を迎えます。

小さくてもきらりと光る坂町を子から孫へとつなぐスタートの年です。

今年も身近な議会を目指しますので、よろしくお願ひ申し上げます。

【奥村富士雄】

「議会だより さか」は 坂町議会 検索 でもご覧になれます



発行／〒731-4393 広島県坂町議会 (TEL：082-820-1514) (FAX：082-820-1530)
編集／議会広報調査特別委員会 E-mail／gikai@town.saka.lg.jp 印刷／株式会社ヤマワキ